

■地域福祉向上に向けた4つの助け

藤里町に住むすべての人たちにとって住みやすい場所となるためには、4つの助けが大切です。

地域住民や地域活動を行う人たちや福祉サービス事業者等による地域で組織化された活動（共助）は、家族機能の弱体化や近隣住民同士の関係性の希薄化等により自助や互助の「力」が低下するなか、その重要度がますます高まっています。

自助（じじょ）

個人や家族による支え合い・助け合い
（個人や最も身近な家族が解決にあたる）

互助（ごじょ）

身近な人間関係のなかでの組織化を前提としない
お互いさまの気持ちによる支え合い・助け合い
（隣近所の友人や知人、別居する家族が、お互いに支え合い、助け合う）



共助（きょうじょ）

地域で暮らす人たちや地域活動・地域福祉活動を行う人たち、地域の施設・事業所などが組織化し、協働していくことによる支え合い・助け合い
（「地域ぐるみ」で福祉活動に参画し、地域社会全体で支え合い、助け合う）

公助（こうじょ）

保健・福祉・医療その他の関連する施策に基づき、行政機関が公的な福祉サービスを提供することや地域における福祉活動を支援することによる支え
（行政でなければならないことは、行政が適切に対応する）



■計画の進行管理、評価

「藤里町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」を計画の進捗管理及び検証を担う組織として位置付け、計画に基づく施策が適切に実施されているかを点検・評価したり、新しい取り組みについて、意見をお聞きする場としていきます。

令和7年3月 編集・発行

藤里町 町民課 町民福祉係

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字藤琴 8 番地

TEL:0185-79-2113 FAX:0185-79-3002

社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字三ツ谷脇 40 番地

（総合福祉センター内）

TEL:0185-79-2848 FAX:0185-79-3330

第2期藤里町地域福祉計画 第4期藤里町地域福祉活動計画

ともに支え合い

みんなが安心して暮らせる

やさしいまちづくりの実現

町民同士が支え合い、健やかで生きがいをもって
みんなが安心して住み慣れた町で暮らせる明るくやさしい町を目指します。

《計画期間：令和7年度から令和11年度》

藤里町・藤里町社会福祉協議会



■地域福祉とは

すべての住民が互いに人権を尊重し、地域において支え合い、助け合って誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせるような地域社会の構築を福祉の観点から実現していくことを目的としています。

地域住民や福祉サービス事業者等が、行政機関や社会福祉協議会の職員と協働し、それぞれの役割や特性を活かしつつ、よりよい方策を見出していこうというのが、地域福祉の基本的な考え方です。

■支え合いのまちづくり

だれもが住み慣れた地域で活躍ができ安心して暮らしていくために、地域住民一人ひとりが地域社会を構成する大切な一員であることを認識し、積極的に地域の課題解決に参加しながら、地域福祉を進めていくことが求められています。

都会では簡単にできないことが藤里にはある

藤里町では移動の手段が重要



誰でも活躍できる場所があればいいな



■計画の目指すもの

地域共生社会の実現や地域福祉を取り巻く藤里町の現状や課題を踏まえ、町民一人ひとりが参加・協力し、助け合える仕組みを構築していくため、施策展開の基本方向として、以下の3つの目標を設定します。

◆基本目標 1

地域福祉を推進する体制づくり

町民が中心となり、身近な地域でのつながりや協働を深めていく体制づくりを目指します。

そのため、幅広い世代での福祉教育を充実させ、誰もが気軽に地域福祉活動に参加できる機会づくりをするとともに、お互いの顔が見える関係性を築いていきます。

【基本施策】

- 福祉教育の推進
- 地域福祉を担う人づくり
- 福祉に関する啓発の充実



◆基本目標 2

町民同士が支え合い、助け合えるまちづくり

地域住民が支え、支え合う双方向の関係性を大切にして、地域福祉活動に誰もが参加できる地域を目指します。また、さまざまな人たちの社会参加や生きがいづくりと地域ぐるみによる福祉の向上を図り、藤里町社会福祉協議会、民生児童委員、地域活動を行っている団体など、連携を充実し、地域福祉のネットワークづくりを推進します。

【基本施策】

- 地域における支え合い、助け合いの仕組みづくり
- 「福祉でまちづくり」を合言葉に、誰もが活躍できる場づくり
- 地域福祉のネットワークづくり



◆基本目標 3

安心・安全に住み続けられるまちづくり

少子高齢化が進展する藤里町では、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりがより一層求められます。そのため、保健・福祉・医療等の福祉サービスに関する情報提供や相談体制の充実を図りながら、必要に応じ新たなサービスを創造し、サービスを利用しやすい仕組みを整えます。

また、災害や緊急時における支援体制の整備や、権利擁護の充実を図ります。さらに、町民が安心して移動や外出ができるような、やさしい交通環境づくりを進めていきます。

【基本施策】

- 重層的な相談支援体制の整備
- 健康でいきいきと暮らすための健康づくりの推進
- 安心・安全に暮らしやすい生活環境の充実



第4期 藤里町地域福祉活動計画（でらっとプランⅣ）

★「安心と活躍とわくわくのある楽しいまちづくり」をめざして★

計画の重点項目

◎安心と活躍とわくわくのある

みんなが住み続けたい（暮らしやすい）まちづくり

◎安心と活躍とわくわくのある

みんなが楽しいまちづくり

- ・安心があるから楽しく暮らせるまちづくり
- ・未来につなげる子育て支援～子どもまんなか～
- ・みんなが活躍できるように～活躍支援の居場所づくり～

藤里町社会福祉協議会は地域共生社会に向けて「安心と活躍とわくわくのある楽しいまちづくり」を第4期地域福祉活動計画の目標に掲げます。



具体的な計画内容

◎町に進めて欲しいこと

	推進事業案	地域福祉活動計画と重なるビジョン
1	町全体で DX の推進	・安心して暮らせる町づくり ・町民と行政が一つになってつくる町づくり
2	町全体で協働の推進	・つながる、広がる関係づくり

◎町全体で活用したいアイデア7分類

	アイデア分類	タイトル
1	つながるきっかけづくり （共生社会・孤独孤立 対策・権利擁護）	・たまりば・かたるべえや ・出張まち自慢 ・誰もがくつろげる場所
2	防災 （防災・減災）	・おらほの防災塾～ローリングストックシステム～ ・災害ボランティア「チーム FUJISATO」立ち上げ
3	健康づくり （医食住の安心）	・ふじさとプレーパーク宣言 ・ふじさと公園クリニック（メディカルサテライト藤里）
4	外出しやすいまちづくり （移動の安心）	・駒わりくんプラス ・夢のドライバーズフリー ・ふじさと「運転」うけおい隊
5	一人ひとりの活躍のある まち（活躍支援）	・藤里求人メニュー表 ・ご近所ヘルパー制度の設立
6	こどもまんなか （こどもまんなか）	・ふじっこ先輩の知恵袋（そ～だんですよ！） ・ふじさと未来創造学園
7	いいところ探し あるもの探し （楽しいまち）	・藤里町魅力発見プラン！ ・ふじさとの「映え」推し隊！買いたい！ ・もっと食しえ隊！（かしえたい） ・『白神の森芸術祭』開催 ・（白神の麓の）美しい町づくり